

京都・奈良・大阪方面への修学旅行における活用例（中学校）

1 九州歴史資料館の訪問をとおして生徒たちに学ばせたいこと（学校からのご要望）

- ① 文化財の保護と保存、後世へ伝えることについて
- ② 学芸員の仕事について

2 当日の流れ

		Aグループ	Bグループ	Cグループ
9:30~9:45	15分	九歴到着→研修室へ オリエンテーション（資料配布） 施設利用マナー、博物館見学の見通し		
9:45~10:15	30分	第1展示室 「仏像の見方」	第4展示室 「文化財を守る、学芸員の仕事とは…」	中庭 「保存科学とは…」 （文化財の保存・修復）
10:15~10:45	30分	第4展示室 「文化財を守る、学芸員の仕事とは…」	中庭 「保存科学とは…」 （文化財の保存・修復）	第1展示室 「仏像の見方」
10:45~11:15	30分	中庭 「保存科学とは…」 （文化財の保存・修復）	第1展示室 「仏像の見方」	第4展示室 「文化財を守る、学芸員の仕事とは…」
11:15~11:30	15分	研修室にてふりかえり活動 アンケート記入 あいさつ、退館		



▲仏像の見方



▲学芸員の仕事



▲保存科学

3 先生方の声

- 博物館に行く機会のあまりない生徒達にとってはとても良い経験になったと思います。
- 復元の作業をしている様子がよく見え、多くの人が時間と手間をかけていることがわかりました。
- 修学旅行で京都・奈良に行く学校は多いので、事前学習の場として学ぶことはよいことだと思います。
- 修学旅行での見学の時の事前学習としてとても良かったです。（特に仏像のお話等）